

「軍事vs軍事、でなく」



# 憲法9条いかした平和外交こそ

米中の覇権争い——軍事対決がエスカレートするも、岸田政権は9条改憲に前のめり。“9条の歯止め”を外すのは危険です。「憲法改悪を許さない全国署名」にご協力ください。



## 「敵基地攻撃」先制攻撃そのものに

岸田首相の言う「敵基地攻撃」能力は、相手国の領域に乗り込んでミサイル基地や地下施設をしらみつぶしに破壊する先制攻撃。

全面戦争への危険な道です。憲法9条のもとでは絶対に許されません。

## 東アジアを「平和と協力」の地域に

中国の覇権主義的な無法に対しては、国連憲章と国際法に基づく冷静な外交的批判と、あらゆる紛争を戦争にしない外交努力が必要。すでにASEAN（東南アジア諸国連合）と日本、中国、韓国、

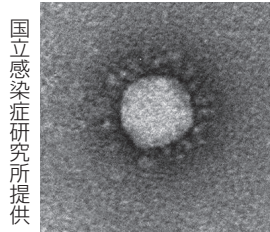
アメリカ、ロシアなどによって「東アジアサミット」の首脳会議が毎年開催されています。これを発展させ東アジアを「平和と協力」の地域にしていく——憲法9条をいかした平和外交こそ求められています。

折り目

# オミクロン株

# 軽視せず対策を

# 「心配ない」は危険



国立感染症研究所提供

BS番組で  
小池書記局長

日本共産党の小池晃書記局長は19日、BS-TBSの番組に出演し、新型コロナウイルスのオミクロン株対策について自民党の田村憲久前厚労相らと議論しました。

## ワクチン接種・PCR検査・保健所支援を

小池氏は、オミクロン株について「現時点で重症化は心配しなくてよいという判断は到底できない。重症化率はインフルエンザの数十倍。オミクロン株の重症化率が従来株の3分の1になっても怖い病気であることに変わりない」と述べ、「安心してよいというメッセージを絶対に送ってはいけない」と強調しました。

### 高齢者の重症化率高い

番組では、経済同友会の桜田謙悟代表幹事が「重症化率は恐らく間違いなくインフルエンザよりも低い」と述べ、今回のまん延防止等重点措置

に不満を示したことを紹介。小池氏は、「認識が間違っている」と指摘。現在の重症者数は若い世代の感染者が多いもとの数字で、高齢者の重症化率は依然高いと言われていることを挙げ、「そんなに心配しなくてよいとの認識で政策を進めるのは危険」と警告しました。

また小池氏は3回目のワクチン接種の加速、PCR検査の大幅な拡大、保健所への人的・財政的支援と事業者への支援強化を提起しました。

# 日本共産党

**2022年参院選の予定候補**

<p>〔比例代表〕</p> <p><b>大門みきし</b></p> <p>参院議員4期</p>	<p>〔選挙区〕</p> <p><b>たつみ</b></p> <p>コータロー</p> <p>大阪(改選数4)</p>	<p><b>こむら潤</b></p> <p>前参院議員</p> <p>兵庫(改選数3)</p>	<p><b>たげやま</b></p> <p>党兵庫県政委員長</p> <p>京都(改選数2)</p>
---	---	---	--

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

比例代表は「**日本共産党**」と書きます

選挙区は「候補者の名前」で

制度解説 参院選挙投票方法